

11、12月の活動内容報告



ビーバー(BVS)隊

11/1 「アリエッティのせかい」アリエッティの目線でのハイキングを行いました。昆虫の気持ちになるには導入の「昆虫太極拳」。みんなでカマキリ、バッタ、ダンゴムシ、カメムシの形を覚えて、楽しみま



した。その後は紙コップに隠された自然のものを音を頼りに探します。振って聞こえた音を頼りにどんぐりや石は葉っぱを公園で探しました。その後は麻紐を公園に置いてそのコースを虫眼鏡をのぞき込んで虫の目線でハイキングをしました。崖あり、谷あり、木の実あり、とてもハードなコースを楽しみました。スカウトたちはそのコースに橋を作ったり、木の実やさんを作ったりと、発想豊かに楽しい

コースにアレンジしていました。最後は進化ジャンケンで昆虫版で昆虫の目線からスカウトに戻ってきました。



コースにアレンジしていました。最後は進化ジャンケンで昆虫版で昆虫の目線からスカウトに戻ってきました。

11/15 「ぼく わたしに できること～そなえよ つねに～」ということで、防災・避難に関する隊集会を行いました。中野ZEROで避難経路や消火器、消火栓などを探す探検をし、避難グッズのキムズで逃げるときに必要なものを知り、靴のないときでも歩けるような知恵としての新聞紙のスリッパを作ってみました。また、カードゲームで災害時の避難について楽しく学びました。最後に非常食の食べ比べもしました。水を入れて1時間待てば



完成。今回のなかでは、野菜ピラフとワカメご飯が人気でした。防災カードゲーム「このつきなにがおきるかな？」は下記の国土交通省のサイトのものを利用しました。

https://www.mlit.go.jp/saigai/saigai01_tk_000005.html



12/6 今回はお出かけプロのキッズニア。初めてのスカウトも多かったので、事前にやってみたいアクティビティをおうちの人と話し合ってワクワク度をアップ！当日は色んなお仕事を楽しみながら体験できました。人気は飛行機とゲーム会社と料理系。それ以外でもそれぞれのスカウトの興味関心がみられました。



12/13 「クリスマス会」としてポップアップカード作りを

しました。カラフルな色合いで素敵なカードが作れました。サンタさんへのお願いも自分の欲しいものだけではなく、サンタさん頑張ってるね、といったメッセージも見られました。その後



は持ち寄ったプレゼントでのプレゼント交換。室内に隠された番号を探して、プレゼントと交換です。集会の最後にプレゼントを開けて歓声が聞こえました。



カブ(CS)隊



11/1 組集会 ちょっと遅れてスタートした今年度の折り返し、11月から後半の体制として、新組長次長を決めました。前半は隊長が指名、後半は組で話し合ってスカウト自身が決めましたが、指導者もほぼ納得の布陣となりました。隊長からは細かい指示をしなかったけれど、人数の多いくまスカウト



は、同期の仲間の経験も加味して決めてくれて、みんなの成長に嬉しく想いながら任命をしました。後半は、11月のテーマ「自分だけの車をつくるぞ！」PWD(パインウッドダービー)の工作プログラムの始まりです。翌年1月の地区大会、3月の東京大会に向けて入賞を目指します。まずは朝の公園探索ゲーム。前月の匂い、その前の色に続いて今回はデザインを意識して面白い形の自然物ハンティングを実施しました。持ち寄ってみんなで見せ合いました。この日は残念ながらPWDのレースカー工作キットが間に合わなかったため、色のことをちょっと学んでから、乗り物や生き物の資料を見ながらデザインの原案作りをすることになりました。最後に一人一人デザインと色の発表をしました。スピード狙いとデザイン狙いのスカウトがそれぞれいて、多彩なデザインが並びました。

11/15 組集会 予定していた工作プログラムのPWD(パインウッドダービー)のレースカー工作キットに入荷が遅れ、11月の実施が難しくなったため、12月のプログラム、スタンツ(寸劇)と入れ替えて創作劇の集会がスタートしました。テーマは「宇宙へ飛び出せ!」。ボーイスカウトアンバサダーである野口聡一宇宙飛行士の宇宙滞在応援プログラムです。



まずは表現を豊かに、音だけで伝える鳴き声当てゲーム。コオロギやペンギンなどは苦労していました。次にこの日までの宿題で、宇宙や星座の神話など調べてきたお話を組で話し合い、その中から劇にするお話を決めました。その後、みんなでお話の流れ(シナリオ)、配役(キャスト)、台本(セリフ)まで完成が目標でしたが、少し残ってしまったようでした。準備集会は残り1回なので、劇の練習、衣装、小道具の作成など、午前中だけか午後までかけて準備するか組で話し合って、次回は1日かけて仕上げることになりました。この日の翌日、野口宇宙飛行士が搭乗したクルードラゴンも無事打上に成功し、宇宙ステーションとドッキングして半年の宇宙滞在の挑戦が始まっています。

11/29 組集会 野口宇宙飛行士の挑戦の応援プログラム「宇宙へ飛び出せ!」星座/宇宙スタンツ発表会に向けての第2回組集会。前回の話し合いでこの日は夕方まで準備集会となりました。まずは表現ゲーム第2弾、ジェスチャーで何の動物か伝えるゲームをしました。ゾウやキリンは何とか、ブタやサルは一部女子には恥ずかしかったみたいでした。最後のサイは苦労しましたが、音とジェスチャーで人に伝えること、学べたようでした。その後スタンツの準備にかかりました。前回決めたお話の筋書きと台本を進めて劇の練習をスタート。めどが立ったところで、衣装、小道具作り、衣装を着ての練習に励みました。



12/6 隊集会 野口宇宙飛行士の挑戦の応援プログラム「宇宙へ飛び出せ!」星座/宇宙スタンツ(劇)発表会。これまでの2回の組集会で準備したみんなのスタンツの本番です。



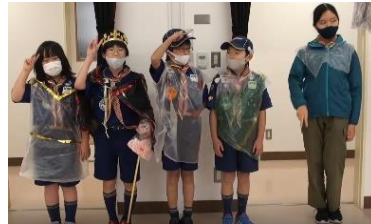
隊集会なので公園で久しぶりのカブコールを行い、続いてこれも久しぶりのカブスOWNで自分を見つめる時間、それから演技前のジャスチャーゲームを楽しみました。ゲームで勝った順で組の順番を決めました。そして部屋に戻ってきていよいよ劇本番です。各組、劇を始め



る前に、野口宇宙飛行士応援プロジェクトとして、隊長がゲットしてきた野口飛行士ワッペンを付けて、一人ずつ半年の間に挑戦することを宣言しました。チャレンジ章や、漢字のテスト、毎日歯みがき(!?)など、頑張してほしいものが並びました。

劇の題目は以下の通り

- 1 組 オリオン座とさそり座のお話
- 2 組 地球からの脱出
- 3 組 織姫と彦星
- 4 組 おとめ座のお話
- 5 組 獅子座のお話



リーダー 七つの星
星座の伝説有り、SF
あり、オリジナル有
り、みんなよく頑
張りました。どの組
も良かったので、優秀



組は1つの予定だったところ、3つの組が表彰されました。これからの将来に大きな可能性を秘めたカブ隊にとって、色々な可能性を秘めた宇宙がはまってきました。また今回は、会場に来れない保護者の皆様にZoomで配信しました。

12/13 組集会「自分だけの車をつくるぞ！」 前回 11/1 に、1回目の集会としてデザインを考えた PWD(パインウッドダービー)の工作プログラム。入荷が遅れていたキットがようやく到着し、再開していよいよ



工作スタートです。まずは手先と左右別の動きをする手指の準備体操から。その後デザインをキットに書き写してノコギリで切った後さまざまなヤスリで磨いていきます。去年に続き保護者インストラクターの“工作おやじ！”には、次から次へと加工の相談にスカウトが並びます。この日と翌週の集会は午前だけでなく午後にも時間を取っていましたが、早いスカウトは午後には色塗りまで進みました。大会でのスピード狙い



かデザイン賞狙いで入賞を目指します。また遅れていたカブブックの履修もやっと進み、修了者が出てくるようになりました。

12/20 組集会 この年最後の集会「自分だけの車をつくるぞ！」PWD(パインウッドダービー)の工作プロ。手先の準備体操として、うさぎスカウトからくまスカウトまで、体の周りの“もやい結び”にチャレンジして、出来るスカウトはリーダーと“もやい結び競争”で対決しました。前回からスタートしたスカウトはそろそろ仕



上げ、お休みだった子は急いで追いつけるようにスタート！おなじみ保護者インストラクターの“工作おやじ”は大忙しでした。今年はスプレーでのペイントに工夫が見られ、レベルが高くて入賞期待です。早く完成した子は段ボールの特設レーシングコースで試運転も出来ました。会場として部屋をお借りした谷戸小学校に感謝です。1月のあすなろ地区大会も同じ谷戸小学校の体育館をお借りして行う予定でしたが、残念ながらコロナ感染拡大の緊急事態宣言発出で、地区大会は中止になりました。

ボーイ(BS)隊



11/22 12月ハイキングの計画を立て始めました。自分達で企画したハイキングです。テーマは「いろいろな場所からスカイツリーの写真を撮りコンテストを行う」。そのために、どこからどのように歩くか地図や観光ガイドとにらめっこ。後半はロープワークの練習。2級章はまだ取れていませんが、1級の進級課目に挑戦です。半分は日ごろのキャンプで使う結びなので、既にマスター済。残りの半分は、やり方自体はさほど難しくないのですぐにマスターできました。ただし、実践では使う場面がなかなか無いので、すぐに忘れてしまうのが難点です。

11/29 計測の訓練を行いました。文明の利器を用いずに、簡易計測器という物を用いて木々の高さや川幅を測る練習です。近くまで行かれない場所の木の高さや渡ることでできない川の幅を知ることは、ハイキング中の自分たちの位置を知るための重要なスキルです。そして、その計測の全ての基本は“歩測”。自分の一歩がどれだけの長さなのか常に頭に入れ、安定した歩幅で歩くことが重要です。



12月はコロナ感染予防のため、活動休止しました

ベンチャー(VS)隊

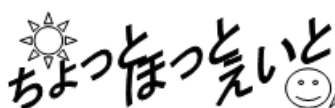


11/22 隊会議を行いました。1月に実施するハイキングの企画会議です。いろいろなテーマが出ました。その中から3つを選び分担して企画書を作成しました。

12/13 隊会議をオンラインで行いました。前回作成した企画書を担当者がプレゼンし、その中から、どれを実施するかを議論しました。「体力づくりとストレス発散」をテーマとした企画が選ばれ、計画書作成をすることが了承されました。

11、12月のスカウト進歩情報

BVS :	N. N. さん	小枝章・1年章
	M. S. さん	小枝章
	A. Y. くん	小枝章
CS	J. H. くん	カブブック「くま」修了 チャレンジ章「市民」「動物愛護」「キャンパー」
	B. K. くん	カブブック「うさぎ」修了 チャレンジ章「手伝い」
	S. O. くん	カブブック「うさぎ」修了
	K. S. くん	カブブック「うさぎ」修了
	T. T. くん	カブブック「うさぎ」修了
	C. T. さん	カブブック「うさぎ」修了
	R. T. くん	カブブック「うさぎ」修了
	A. T. くん	カブブック「うさぎ」修了
	M. M. さん	チャレンジ章「天文学者」「キャンパー」「コンピューター博士」 「救急博士」
	E. S. くん	チャレンジ章「災害救助員」「ハイカー」
	R. T. さん	チャレンジ章「料理家」「旅行家」
	R. U. くん	チャレンジ章「ハイカー」
	R. K. くん	チャレンジ章「ハイカー」
	K. K. くん	チャレンジ章「ハイカー」
	Y. S. くん	チャレンジ章「手伝い」
	M. S. さん	チャレンジ章「救急博士」
	N. N. さん	チャレンジ章「修理博士」
	S. O. さん	チャレンジ章「救急博士」



活動で見つけた
ほのぼの話

いつもと勝手の違う生活、勝手の違う活動が続いた1年でした。会場の都合でさよならパーティーも見送りになりました。年が明けてもコロナ禍は続き、再度の緊急事態宣言発出で、対面での活動は禁止になってしまいました。またしばらく「オンラインでの集会」になります。スカウト活動の根幹とも言えるキャンプ(＝宿泊活動)は、引き続きしばらくお預けの状態です。しかし、前回の緊急事態宣言時に、オンライン活動でも様々なことができること、普段の集まっていた集会とは違った活動ができることも発見しました。生活を含め、まだしばらくは「我慢」の状態が続きますが、今年も元気に過ごしていきましょう。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



活動の写真はホームページにアップされています。
個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にご確認の上アクセスして下さい。

(なかなか更新できなくてすみません)

<http://bsn8.world.coocan.jp/>

リーダーの活動

- | | |
|-------|-----------------------|
| 11/1 | 団会議 |
| 11/5 | 地区円卓会議 |
| 11/15 | 東京連盟組織
拡充フォーラム(OL) |
| 11/17 | 東連指導者養成
委員会 |
| 11/21 | 地区コミッション
会議(OL) |
| 11/23 | 地区18NSJ
準備委員会(OL) |
| 11/26 | 地区委員会 |
| 11/29 | 東連トレーニング 指
導要員研究集会 |
| 12/5 | |
| 12/6 | 団会議(OL) |
| 12/12 | 東連コミッション
集会(OL) |
| 12/15 | 東連指導者養成
委員会 |
| 12/21 | 地区コミッション
会議(OL) |
| 12/26 | 地区委員会 |

スカウト豆知識

「ビーバー部門とその歴史」

スカウト活動では、年齢に応じていくつかの部門に分かれています。カブ隊未満の年齢の子を対象にした部門をビーバー隊といいます。教育の低年齢化の進行という時代の要請にこたえ、1970年頃からいろいろな国々でカブ年齢未満児を対象としてプログラムの研究が行われた結果、スカウト運動の一部門としてビーバー隊に正式に採用されるようになり、1980年代より国際的に広がりしました。国ごとに生活様式や社会の仕組みがことになっていることから、それぞれに国の習慣、教育、スカウティングの伝統に応じた展開を図り、多彩な活動となっています。

日本でも、同じ頃から「カブ隊の集会についてくる弟妹や、指導者の子どもたちをなんらかの形で世話したい」という要望があがり、1986年(昭和61年)より、ビーバー隊が本格的に採用されることになりました。

ビーバー隊という名前は、最も古くからこの部門の活動を始めたカナダでつけられた名前です。カナダでの取り組みは、この年齢の子たちへのスカウティングの先駆者として、少なからず世界の多くの国々に影響を与えています。国によっては、違う名前の場合もあります。(アメリカの「タイガーカブ」ニュージーランドの「ケア」、デンマークの「マイクロスカウト」など)

ビーバースカウトは、小学校入学前の1月から小2までの子ども達です。その年代にわかりやすいように、「みんなとともになかよく遊ぶ」「自然に親しむ」「楽しみや喜びをわかちあう」という3つのことにねらいを置いて活動を展開しています。